

2024

4月

# ゆ う ひ ろ ば

遊通信  
第 190 号



「アイヌの声を国会に！ アイヌ施策推進法の“作り直し”を求める集会」  
(2024年4月20日、北海道クリスチャンセンター)

## 特集 ヘイトにどう対抗するか

差別を告発し可視化した多原さん そして私たち和人は…	… … 2
体験報告 ヘイト集会が野放し	… … 4
沖縄視点で考える杉田水脈氏ヘイト発言	… … 6
レイシズム憲法を超えるために	… … 7
差別という暴力と植民地主義	… … 8
アイヌの声を国会に！	… … 10
書評『アイヌもやもや』	… … 12
寄稿 ラポロアイヌネイション「サケ裁判」で原告が一審敗訴	… … 13
寄稿 自由創造社会ヤボネシアを創ろう	… … 14
リレーエッセイ 私と、さっぽろ自由学校「遊」(第9回)	… … 15
連載 タントアナクネビリカ(第9回)	… … 16
連載 フィールドワークな日々(第96回)	… … 17
さっぽろ自由学校「遊」からのお知らせ など	… … 18

しかし、杉田はその後、居直って自らのアイヌ差別を否定。さらには、法務局の制度に問題があるなどと自らを正当化したり、まったく根拠のないアイヌ関連事業での不正を示唆して「公金チユーチュー」などと書き込み、被害者側に非があるかのように責任転嫁したり、以前より巧妙で悪質なヘイトを流し続けている。

法務局についても今春、残念な事態が明らかになつた。北海道在住のアイヌでアーティストの多原良子が、衆議院第二議員会館で3月28日に開かれた院内集会であいさつする多原さん



衆議院第二議員会館で3月28日に開かれた院内集会であいさつする多原さん

ストのマウンキキさんが、かつて札幌市長選に自民党の推薦で出馬したこともある政治団体元代表の本間奈々から、了解なく名前や出自、家族の情報を明かし、シヌイエに助成が出来るかのような事実に反する文章を投稿され、追隨する書き込みも相次いだ。

このためマウンキキさんは今年1月、札幌法務局に人権侵犯被害の認定と書き込みの削除を申し立てたが、法務局は「相手が聞き取りを拒否したら事実確認ができないので、被害の認定はされない」と逃げ腰で、書き込みの削除についても「1件1件、どのように辛いか説明してもらう必要がある」と被害者に二次被害を強いる条件を出した。職員から繰り返されたという「私たちは中立です」という言葉。加害者と被害者の間での「中立」とは差別の默認ではないか。

アイヌ施策推進法は第4条でアイヌ差別を禁止しているが、ヘイトは止められていない。同法には罰則がない上、国や自治体に差別撤廃への努力を求める規定もなく、見直しが急務だ。さらに、国連の人種差別撤廃委員会が日本政府に勧告している、政治家に対しても忖度せず人権侵犯を積極的に救済する、政府から独立した機関の設置や、罰則付きの包括的なヘイト防止法の制定も課題だ。3月28日

に、アイヌ民族に対するヘイトが、とりわけネット空間で蔓延していることを、勇気をもって告発し、可視化した一人が多原良子さん。人権を誰よりも尊重すべき国会議員でありながらヘイトを垂れ流し続ける自民党的な田水脈に対して抗議の声を上げた、アイヌ女性団体「メノコモシモシ」の代表だ。

多原さんが杉田の攻撃対象とされたのは2016年。多原さんが特別な思いでアイヌ衣装を身にまとい、臨んだスイス・ジュネーブの国連欧洲本部で開かれた女性差別撤廃委員会の日本政府報告書審査の場だった。

多原さんは胆振地方の鵡川町(現むかわ町)出身。実家の仏壇には、シヌイエ(成人女性が口の周りに彫る入れ墨)をしてアイヌ衣装を着た祖母の写真があつた。差別の中、自分がアイヌであることを恥じるよう思ひ込まれるような環境で育つた多原さん。和人の男性と結婚後、夫婦で帰省する際には、いつもが祖母の写真を見て、「お前のおばあさんはアイヌなのか」と言い出すかとびくびくしていたという。

飯島秀明（いいじまひであき）  
日本の植民地支配・侵略責任の清算を目指す「遊」や沖縄の米軍基地を考える会・札幌、平取「アイヌ遺骨」を考える会で活動中。

## 特集 ヘイトにどう対抗するか

アイヌ民族へのヘイトが横行している。アイヌ施策推進法施行から5年、国による謝罪も賠償もない中、アイヌ自らが権利回復の声を上げ始めるのに張り合うかのように、リアルで、ネットで、国会議員までもが、差別を否定したり、ありもしない特権を言い募るなどしている。在日コリアン、琉球出身者も標的にされている。加害の側にいる多数者はこの問題をどうとらえ、対抗していくべきなのか。マイノリティ、マジョリティの声を集めた。

アイヌ民族に対するヘイトが、とりわけネット空間で蔓延していることを、勇気をもって告発し、可視化した一人が多原良子さん。人権を誰よりも尊重すべき国会議員でありながらヘイトを垂れ流し続ける自民党的な田水脈に対して抗議の声を上げた、アイヌ女性団体「メノコモシモシ」の代表だ。

多原さんが杉田の攻撃対象とされたのは2016年。多原さんが特別な思いでアイヌ衣装を身にまとい、臨んだスイス・ジュネーブの国連欧洲本部で開かれた女性差別撤廃委員会の日本政府報告書審査の場だった。

多原さんは胆振地方の鵡川町(現むかわ町)出身。実家の仏壇には、シヌイエ(成人女性が口の周りに彫る入れ墨)をしてアイヌ衣装を着た祖母の写真があつた。差別の中、自分がアイヌであること恥じるよう思ひ込まれるような環境で育つた多原さん。和人の男性と結婚後、夫婦で帰省する際には、いつもが祖母の写真を見て、「お前のおばあさんはアイヌなのか」と言い出すかとびくびくしていたという。

2022年秋、この書き込みが国会で問題になり、それをきっかけに逆に多原さんへのヘイトが拡散。多原さんは昨年3月、杉田の書き込みについて札幌法務局に救済を申し立て、同年9月、法務局が人権侵犯を認定した。住民族・アイヌそのものを否定する言葉だった。

その後、民族活動に携わる中で誇りを取り戻し、民族差別と女性差別が単に重なるだけではなく補強し合つて自分たちアイヌ女性を苦しめる「複合差別」にも気付いた。その状況と格闘する中でたどり着いたのが2016年の女性差別撤廃委員会だった。かつては祖母の写真から自分がアイヌだと知られてしまっていた。多原さんらを隠し撮りし、「日本国籍晒し」「小汚い恰好に加えてチマチヨゴリやアイヌ民族衣装のコスプレおばさんまで登場」などと投稿。民族衣装に止まらず、先住民族・アイヌそのものを否定する言葉だった。

**差別を告発し可視化した多原さん そして私たち和人は…**

飯島秀明

同じ過去を持つアイヌ、朝鮮にも同じ痛みを感じる。

種間序列の頂点にいる植民者の研究で、被植民者民族を高見から見る日本人杉田水脈をつくり上げた。

特集

沖縄視点で考える杉田水脈氏へイト発言

杉田水脈のアイヌ、朝鮮の文化を侮蔑・否定したブログ発言に、琉球民族である私自身も同様に侮蔑、否定された怒りを覚えている。国会議員で政府要職にある彼女に、その後も平然とヘイト発言を許していることは、アイヌ民族、琉球民族、在日朝鮮・韓国、東アジアへの過去の歴史を振り返らない「思考停止」をしている私たちの責任は重い。

ていた住民へ大阪から来た機動隊が「土人」「シナ人」と発した言動。これらの発言は個人への攻撃ではなく、琉球民族へのヘイトである。杉田水脈が放っている発言もアイヌ、朝鮮人民族へのヘイト発言である。

一人一人ができる力でじぶんの足下から抵抗の意志を示す、第二の杉田水脈を生まない社会監視をする行動が人間を守る大事な事と感じている。

琉球・沖縄は私が生まれた時から命と尊厳を守るために米軍、基地、日本と戦っていた。それは抑圧が可視化されていたこともあるが、差別を受けていた琉球民族が命と尊厳を守る事への抵抗も大きい。昨今、マイノリティへの杉田水脈の高見視点での発言は看過できない人間の尊厳・人権無視である。

昨年、今年と杉田水脈発言抗議集会を行なった際、多くの人の参加があった。それは杉田水脈発言に一般人が「NO」の反応を示したことだ。そのパワーをつなげていくことはヘイトへの大きな抵抗になる。

ゆうひろば 第190号

アイヌヘイト集会が札幌のド真ん中で公然と開かれるので、抗議するために集まれ、と呼びかける緊急メールが届いた。天気予報によれば雪も降るので、防寒の備えを万全にして駆けつけた。会場は、通称かで。北海道アイヌ協会や道立アイヌ総合センターなどの公的な拠点が入居するビルの1階ホールだ。受付に積まれたアイヌ問題シンポジウムのチラシを1枚いただいた。先住民族論が暴走すると危険なので、科学的な視点から議論を深めたい、などと書いてある。シンポジストの経歴紹介によれば、医者、北大院卒、現職の札幌市議会議員など、社会通念上は一応信用できることになっている面々が並ぶ。しかし主催者は、2019年に白石区民センターで「あなたもなれる？みんなで“アイヌ”になろう？」と題するトンデモ集会を開いた、悪名高き歴史修正主義グループだ。

現場に早く到着したTV取材班が、三脚を立てて準備していると、主催者側の一人がハンドマイクを構えて近づいた。「HBCとか、オレはTBSの社長を知ってる。今度、東京

で株主総会に出て報告してやるよ」と顔を撮らうと迫る。これは、サル学の専門用語では「マウントをとる」行動か? 僕は、元同業者の親近感から、「挑発に乗らないのは、さすが」などと余計な声援を送つてしまつたが、あとで聞いたら、ドキュメンタリー『ヤジ』と民主主義』を劇場拡大版も作った、知る人ぞ知る監督だった。

後日放送されたニュースの中では、抗議に参加したアイヌ民族2人にしつかりインタビューしていた。ネット上に溢れるテーマや誹謗中傷に、「からだ中の血が沸騰するような感じ。彼らは、私だけじゃなく、私の先祖も傷つけていた。本当はアイヌも、もつと抗議しなくてはいけないんだけれども、色々と危険なので、できない人の方が多い…」と女性は嘆く。若い男性は、「じつしょに戦つてくれる存在は、当事者にとっては、心強い味方だ」と前向きに答えた。

この日、自発的に集まつた有志は30人ほど。会場の正面玄関の前に立ち、「かでるは差別に協力するな!」「レイシスト帰れ!」など

主催者側の男が見つけ、思いつきり指さし腹の底から大笑。共感してくれる友を求める館内に戻り袖を引っぱって出て来て再び指さして大笑。「ブーメラン♪ブーメラン♪」と歌い始めた。僕の世代にとっては、昭和の有名ヒット曲の一節だ。その言葉自体はオーストラリア先住民の狩猟具を意味する。

まさか札幌で、こんな場面で歌われると誰が予想したろう。今や、オーストラリアは世界で最も先住民族の復権が進む先進国の一つ。一方、自称「先進国」日本は、2016年、ヘイトスピーチ解消法、2019年、アイヌ施策推進法。実際には、札幌市独自の条例や実効力を持つ罰則規定など具体的な進展が無く、ヘイト集会を市民社会は止めることができない。恥ずかしい実態を国際社会に向けて発信してしまった。

# 特集 体験報告 ヘイト集会が野放し

長岡伸一

のプラカードを胸の前に静かに掲げるのみ。

私の一族は明治初期に札幌周辺に入植した屯田兵です。父方も母方も地主でした。アイヌモシリへの侵略者です。第二次大戦後の農地改革により父親は土地をすべて失い、貧しい青年時代を過ごしましたが、一族全体の財産のおかげで、私は何不自由なく高度経済成長期を過ごしました。高度成長が、朝鮮戦争やベトナム戦争の特需によつて潤つたことは言うまでもありません。日本は安保体制の下、日米合同軍による秩序維持の先頭に立ち、軍事力と経済力で周辺諸国を威嚇し、収奪してきました。

日本国家が一五〇年の歴史を通じて形成してきた植民地主義とレイシズムは、この社会に根深く、隅々まで埋め込まれています。日本文化には植民地主義が編み込まれ、抜きがたいものとなっています。

エリート・レイシズムの自覚を  
人種民族差別のなかでも悪質なヘイト・スピーチについて考えてみましょう。  
ヘイト・スピーチはマイノリティの属性を攻撃し、人間の尊厳を侵害します。一定の集団を攻撃・排除するので民主主義を損ないます。ヘイト・スピーチは社会を壊します（前田朗『ヘイト・スピーチ法研究序説』『ヘイト・スピーチ法研究原論』『ヘイト・スピーチ法研究要綱』以上三書房）。  
ところが、憲法学者の多くは「表現の自由の優越的地位」を根拠に「ヘイト・スピーチの刑事規制は許されない」と主張します。憲法第9条を擁護し、平和主義と民主主義を唱えてきたリベラル派の憲法学者がヘイト・スピーチを擁護します。このためヘイト・スピーチ規制はできず、二〇一六年のヘイト・スピ

## エリート・レイシズムの自覚を

同時に一九九四年以来、国連人権委員会に通つて日本軍性奴隸制の解決を求めました(クラスマスワミ『女性に対する暴力』明石書店、マクドゥーガル『戦時性暴力』裁く)凱風社)。沖縄米軍基地問題や在日朝鮮人にに対するヘイト・クライム問題を国連人権理事会や人種差別撤廃委員会にアピールしてきました。

私の中に植民地主義が根深く息づいています。このことを自覚して植民地主義とレイシズムを克服する努力を続ける必要があるのです。

だからと言って、いつでも、何もかも植民地主義だなどと言い募るわけではありませんが、その構造が頑丈に出来上がった社会であることは常に警戒を要します。

ゆうひろば 第190号

特集

# レイシズム憲法を超えるために ——私たちの植民地主義を

**前田朗**（朝鮮大学校法律学科講師）

「日本国憲法の光と影」などと書つと「光はあるが、影なんてない」とおっしゃる方がいます。

戦争推進の要の天皇制を残存させました。父長制の基軸としての天皇制には性差別が内包されています。平和主義とレイシズム（人種民族差別）が矛盾したまま同居しているのが日本国憲法です。法の下の平等と女性差別が同居しているのに、矛盾の解析がなされていません。

私の中の植民地主義

「レイシズム憲法」などと云つと猛烈な反論が寄せられます。しかし、残念ながら日本国憲法は同時に象徴天皇制と外国人排除の憲法です。過去の戦争を反省したことになつていて、被害の反省であつて必ずしも加害の反省ではありません。戦争や植民地支配の反省は、戦後八〇年を迎えようとするいまなお未決の課題となっています。日本軍性奴隸制（慰安婦）問題や徴用工問題をめぐる日本政府や社会の反応は、日本国憲法と矛盾しないのです。

憲法制定議会のための衆議院議員選挙（一九四五年二月）は、沖縄県民と旧植民地出身者の選挙権を停止して実施されました（古関彰一）。沖縄県民を排除して憲法第九条が制定され、在日朝鮮人を排除して「国民の基本的人権」が語られたのです。憲法学は異議を申し立てませんでした。身分制と外国人排除の日本国憲法の下でジェンダーギャップが拡大するのは自然なことです。人権の名の下に人権を侵害する抑圧的憲法です。過去ではなく現在の憲法学が抱え込んでいる矛盾です。せっかくの平和憲法が日米安保軍事同盟によつてズタズタにされています。平和主義は

**私の中の植民地主義**  
日本国憲法の下に生まれた私は、高校生時代に長沼ナイキミサイル基地訴訟に出会い、自衛隊を憲法違反と判断した札幌地裁の福島判決（一九七三年九月七日）に触れたことから法学部に進み、法学研究者になりました。

一九九〇年代には、アメリカによるイラク湾岸戦争に日本政府が戦費調達したことに反対して市民平和訴訟の原告となり、裁判を闘いました。カンボジアPKO派遣違憲訴訟や昭和天皇死去の際の即位の礼大嘗祭違憲訴訟の原告になりました。

チ解消法はヘイト・スピーチを許容する世界でも珍しい法律です。

これは「マジヨリティの表現の自由」にすぎません。「マイノリティに表現の自由を認め必要はない。マジヨリティの表現の自由こそ大切だ」という合唱です。これを支えるのが思想の自由市場論です。思想の自由市場では圧倒的多数のマジヨリティの利益のためにマイノリティを犠牲にすることが正当化されがちです。

その背後にあるのはエリート・レイシズムです。この社会の意識や世論を形成するエリート層に共有されているレイシズムがメテイアを制し、文化となり、法律や制度になるのです。無意識・無自覚のエリート・レイシズムはヘイト・スピーチ擁護の岩盤となります。

国際的には近現代の資本主義・植民地支配・奴隸制の上に形成された西欧中心主義ですが、日本では西欧中心主義と日本主義（アジア蔑視）がアマルガムとなっています。欧米中心主義の「世界史」を生きる私たちのレイシズムが見えてきます（的場昭弘・前田朗『希望と絶望の世界史』三一書房）。

前田朗（まえだあきら）  
1955年琴似生まれ。札幌西高卒業。東京造形大学名誉教授。主著に『軍隊のない国家』（日

前田朗（まえだあきら）  
1955年琴似生まれ。札幌西高卒業。東京造形大学名誉教授。主著に『軍隊のない国家』（日本評論社）『9条を生きる』（青木書店）『旅する平和学』（彩流社）『憲法9条再入門』（一二書房）等。

# 差別といふ暴力と植民地主義

曹金時江



仕事を求めて日本に来た私の両親は、北海道には十円ためて国に帰るつもりで来たと言っていた。けれど一九四五年以降韓国の故郷を訪ねることも、外国人登録手帳に記号、地域名として書かれている朝鮮に行くこともなく母は五三歳で父は七九歳で亡くなつた。一五歳の少年が故郷にいても仕事がなく日本に出稼ぎに行くと決めたとき周りの大人たちは反対した。「上野駅で立つていれば手配師が来て現場に連れて行つてくれる」という話だけを頼りに言葉もわからないまま船と汽車を乗り継ぎ上野駅に着いた。一九三〇年、一五歳の父は上野で学生服を買いそれを着て手配師を待つた。それは静岡の現場に連れていかれ北海道で亡くなるまでの長い長い土方人生の始まりであり、また日本で植民地朝鮮人としての差別の始まりでもあった。一八歳の時通りかかった大人三人から瀕死の暴力を受けたときに抵抗できなかつたのは腹がすいて力が出なかつたから。日本語もわからず現場での力仕事は日々自分の体力を頼りにがむしゃらに働くことのみだったと聞く。

ある時は学校に行くのが嫌でお腹が痛いだつたか、熱があるかどうかのうそをついた。角巻をかぶり病院に向かう母の後をとぼとぼとついていった。仮病だと病院の先生からも母からも叱られた記憶はないが、その時私たちには国民保険がないことを知ったのはずっと後からだつた。日銭のない朝鮮人の家庭には大きな失費だつたと思う。後年父の仕事を手伝つたときに仕事関係の名簿を指しながら「ここに差別がある」と言った父に向き合えず顔をそむけた私がいる。札幌に出てきてから両親は二人の妹を朝鮮学校に通わせた。高校は茨木と仙台。しかし経済的に厳しい状況にある中で子供たちを朝鮮学校に送ることは親たちの負担も大きかつた。それでも「金のあるものは金を」「力のあるものは力を」「知恵のあるものは知恵を」と民族教育を守り続けた。一九六七年白石区南郷にあつた朝鮮学校の入学式に行つた母は、「子供たちがおつきな声で朝鮮語で歌うのを聞いて、あーもう朝鮮語で歌つてもいいんだー、そう思つたらあとからあとから涙がこぼれて

きた」と話していた。一九四八年四月GHQの指令を受け日本政府は「朝鮮人学校閉鎖指令」を発令弾圧を行つた。二〇一四年の今も日本政府は高校無償化からも除外し続けている。自治体が出す補助金にまで締め付けを行つてゐる。日本政府の民族教育への弾圧は今も続いている。朝鮮学校や民族学級への民族教育弾圧は在日朝鮮人の存在を消すこと、植民地支配をなかつたことにする事につながる。このような日本政府の方針は在日朝鮮人の問題だけでなく多文化共生、異文化交流などの共生社会を目指す政府や自治体との方針とも相反する。それはまた外国人労働者や研修生、難民などの様々な背景を持つ人たちとのような社会を作つていくのかと無関係ではない。家族のことを書いたのは、構造的、制度的、社会的差別は日常の生活の中にありますからだ。あなたと私たちの生活の中には、「遊」のメールで紹介されたロビン・ディアンジェロ著「ホワイト・フライリティ」「ナイス・レイシズム」の概略のみですが読んだ。まさに日ごろ感じていることと重なる。権力はよく知つてゐる。またそのように私たちを誘導している。「遊」講座で講師をして頂いた東京の田中宏さんは、在日の人に「私たち

## アイヌの声を国会に！

### 5月15日開催のアイヌ施策推進法の「作り直し」を求める 院内集会に向け、法律の抜本的な修正を提言

俵屋 年彦

2024年5月15日に衆議院第1議員会館

のためにありがとう」と言われ「いやいやあなたの方のためじゃないですよ、日本のためですよ」「どうもやってやつている感があるんだよな」と書かれ、話される。「アーランラブソティ」という映画のチラシに「日本に暮らす私たちは、映画やドラマ、音楽や食など韓国文化に魅了され続けています。でも、在日韓国人の存在、歴史がすっぽり抜け落ちているような気がするんです」と監督の言葉が書かれている。

最後に、瀕死の状態で道端に転がっていた一八歳の父を自宅で三日三晩の介抱をしてくれたのはとうりかかった日本人のおばさん。そして私の生がある。

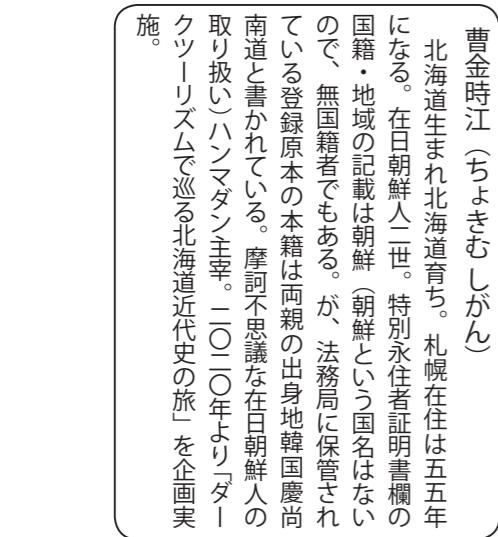
2024年5月15日に衆議院第1議員会館で、アイヌ政策検討市民会議が主催するアイヌ施策推進法の「作り直し」を求める院内集会が開かれます。これに先立ち、4月20日に北海道クリスチャンセンターで市民参加の討論集会が行われました。

アイヌ施策推進法は、2019年の施行が

15年が経ち、見直しの時期を迎えていま

す。アイヌ政策検討市民会議は、国会院内集会を開き、法律の抜本的な修正を提言する予定で

ジェフリー・ゲーマン代表は、開催挨拶のなかで「アイヌ政策から直接影響を受けるアイヌはもとより、アイヌ政策に懸念をもつ国内外の研究者、教育者、ジャーナリスト、芸術家、社会活動家、政治家、学生や市民らが集まり、現状のアイヌ政策について開かれた場で批判的に検討。その結果明らかになつた問題点を広く市民社会と共有し、国や道主導から当事者アイヌの自決権に基づくものへと転換するための基盤、代替策をつくり、日本



曹金時江 (ちょきむしがん)

北海道生まれ北海道育ち。札幌在住は五五年になる。在日朝鮮人一世。特別永住者証明書欄の国籍・地域の記載は朝鮮（朝鮮といふ國名はないので、無国籍者である。が、法務局に保管されている登録原本の本籍は両親の出身地韓国慶尚南道と書かれている。摩訶不思議な在日朝鮮人の取り扱い「ハンマダン主宰。二〇一〇年より「ダーカツーリズムで巡る北海道近代史の旅」を企画実施。



開催挨拶するジェフリー・ゲーマン  
代表



少数民族懇談会は法律名見直しを提案

吉田邦彦氏は閉会の挨拶で「2019年の推進法は、最悪最低だ。日本の現状は、国際的な先住民族・少数民族復権の流れを汲んでいない。そして推進法は、アイヌ民族を分断する危険性がある」と話しました。

1984年に北海道ウタリ協会の総会で可決された「アイヌ民族に関する法律（案）」から40年が経過しました。前文に掲げられた「日本国に固有の文化を持つたアイヌ民族が存在することを認め、日本国憲法のもとに民族の誇りが尊重され、民族の権利が保障されることを目的とする」という言葉の重み、そして和人としての過ちの深刻さを、あらためて感じました。

**内科・神経内科**  
**札幌中央**  
**ファミリークリニック**  
外来一般診療  
月火木金9:00~11:30  
札幌市中央区南1条西11丁目  
ワズ南一条ビル6F  
TEL. 272-3455

憲法私たちの生活に!  
**厚別9条の会**

会員は厚別を中心に、沖縄のアメリカ兵まで約100名

共同代表 渡辺 信一  
TEL.090-6218-8284 FAX.011-897-8390  
E-mail : mbwatanabe@yahoo.co.jp

生活クラブは、  
ちょっと変わった  
生協です♪  
モットーは  
「おいしくてカラダによくて  
自然を壊さない」です

生活クラブ北海道 検索

俵屋 年彦 (たわらやとしひこ)  
さっぽろ自由学校「遊」理事

## 推進法の改正理由を6つに整理

続いて、小坂洋右運営委員が、推進法の改正を求める理由を、6つに整理して説明しました。

### 1. 先住民族であることに伴う権利の保障を

推進法は、アイヌ民族を日本の先住民族であると法律で明記したにもかかわらず、サケを獲る権利、森林資源を活用する権利など先住民族であることに伴う権利が一つも盛り込まれていない

### 2. アイヌ民族が法の主体・実施の主体とされるべき

推進法は、アイヌ民族を文化振興計画や地域振興計画立案の主体とは位置づけておらず、あくまで市町村の意向と計画に基づいて財政投下の措置が行われる仕組みになっています。計画立案にアイヌ民族の同意を義務づけていない

### 3. 歴史的不正義の反省を

推進法は、アイヌ民族への事前相談・協議も条約締結もなく行つた北海道の日本国編入やアイヌ民族への同化政策といった明治期以来の歴史的不正義を明示しておらず、その反省に立つたものにはなっていない

### 4. 今こそ国際的な流れをくむべき時

推進法が、2007年の「先住民族の権利



見直し提言を説明する小坂洋右運営委員

を欠いていることから、差別の横行を許し、歯止めとしては十分機能していない。

### 6. 奪われた遺骨の返還を盛り込み、実効性のある規定に

推進法は、人種差別主義に根ざした和人大学研究者らによって不恰にアイヌ墳墓から持ち出された遺骨の返還に一切触れておらず、国際社会の潮流である先住民族への遺骨返還が日本国内ではほとんど進んでいない現状を開する責務を果たしていない

以上6点を踏まえた法律の修正を求めてい

ます。

平田剛士運営委員は、条文に沿って推進法の現状を解説。市町村によっては、アイヌ政策に取り組んでいるところはあるものの、権利回復にはほど遠い実情について、統計資料を使って説明しました。

### 5. 差別を本当に根絶できる規定を

推進法が、第1条で「アイヌの人々が民族としての誇りを持って生活することができ、及びその誇りが尊重される社会の実現を図る」というた、「第4条で「何人も、アイヌの人々に対する国連宣言」や国際人権法である「自由権規約」など国際法や国際的な先住民族・少数民族復権の流れを汲んでいない。

### 6. 同化政策に対する謝罪と法律名の変更を

少数民族懇談会は、検討した推進法の見直し案について説明しました。

「総理大臣による明治政府いらいのアイヌ民族への同化政策に対する謝罪を行うこと」「法律名はアイヌ基本法とすること」の2点を求めています。

「現行第四条に新たに「差別事象の実態調査

## 特集

『アイヌもやもや 見えない化されてしまう「わたしたち」と、そこにふれてはいけない気がしてしまつ「わたしたち」の。』

北原モコシトウナシ著田房永子漫画 (303BOOKS 1101~11月 税込一七六〇円)

アイヌのルーツをもつ著者が、無知・無理解や差別の構造、そしてマイノリティとマジョリティの関係など、アイヌにまつわる「もやもや」を解き明かしていく。女性の生きづらさやフェミニズムに関する作品で知られる田房永子さんの漫画が各章の冒頭に掲げられ、効果を増してくる。「もやもや」を追っていくと、女性やLGBTQ+、障がい者など他のマイノリティに重なる部分も見えてくる。

そして、「マジョリティの優位性」や「マイクロアグレッシヨン（無意識の偏見）」の章を読めば、これまで無意識に誰かを傷つけたであろう自分自身の言動を見つめ直すことができる。自身の特権性やマジョリティ性に向き合つるのは「しんどい」ことだが、この社会の制度や仕組みはもっぱら特権性やマジョリティ性を持つ人が生きやすいようにつくられているのだから、逃げていては変化を起すこともできない。

著者による関連書『つないでほどくアイヌ／和人』（北海道大学アイヌ・先住民研究

センター、2022年）では「あなたをしるボニタク（呪いの言葉）」が紹介されています。

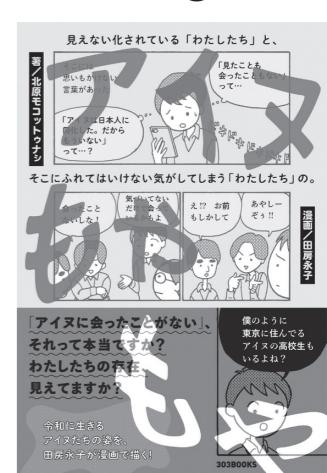
・「あの人はいい人だから差別をしない」（人は社会の価値観を良いものも悪いものも吸収しながら育ち、差別の元になる偏見は誰の心にもある。「差別は悪人がすることだ」という思い込みは、差別について考えたり話したりすることをできなくなる）

・「自分は差別をしない／この組織には差別はない」（差別について考え、話すことを行なってしまつ。組織の場合、高い立場にいる者が発言することは、差別を受けている人の口を封じるNGメント）

・「私にはアイヌの友人がいる」「だから（わたしは）差別者ではない」という意味。多くの場合、差別についてそれ以上話すこと打ち切る効果がある）

・「アイヌがこれでいじと書いている」「他の者が良いと書いているのだから、お前も良いと書き」という意味）

ボニタクには、「それに触れると傷つく、モヤつとする、勇気をふりしぶつたカミング



2024年4月

ゆうひろば 第190号

## ラポロアイヌネイション「サケ裁判」で原告が一審敗訴

平田剛士

「自分たちには、先住民族として地元の川で自由にサケを捕獲する特別な権利がある。それを確認してほしい」——。そう訴えたラポロアイヌネイションに対し、札幌地方裁判所（中野琢郎裁判長）は4月18日、「訴えを棄却する」と判決しました。

### ◆「歴史的不正義」の典型例

ラポロアイヌネイションは、北海道東部の浦幌町在住のアイヌ漁師たち約10人のグループ。「先住民族の諸権利に関する国連宣言」(UNDROP、2007年)以降、日本で初めて提起された先住権訴訟とあって、社会の注目を集めてきました。

背景を復習しておきましょう。アイヌ語でカムイチエブ（カムイから与えられる魚）などと呼ばれる川サケ——繁殖のため海から群れをなして内陸にやってくるサケ——は、この大島で暮らす人びとに、少なくとも1万年以上前から多大な生態系サービスをもたらしてきました。ところが、本州島方面からの和人集団の到来とともに先住民には不自由さ

が増していきます。1869年（明治2年）、事実上の植民地化をこうむつて日本国に取り込まれると、「近代漁業」が河口部や沿海でサケを一網打尽にします一方、川サケ漁には新たな禁止令が次々にかかり始めます。それから百数十年を経た現在、北海道島産サケの9割は遡上前に海で漁獲されているうえ、水産資源保護法が先住民／入植民の区別なく川サケ漁を禁じ続けています。先住民族が「植民地化とその土地、領域および資源の奪取の結果、歴史的な不正義によって苦しみ……自らの権利行使することを妨げられてきた」（UNDROP前文、市民外交センター仮訳、一部修正）ことを示す典型例といえるでしょう。

しかし、この裁判で被告席に座った国・北海道は、原告が提示した数々の「歴史的不正義」の証拠文献に対して認否（事実として認められるか認めないかの意思表示）すら拒み続け、またUNDROPを〈法的拘束力がない〉とまるで足蹴にして、ラポロの主張を真っ向から否定していました。

平田剛士（ひらたつよし）  
フリー・ランス記者、森・川・海のアイヌ先住  
権プロジェクト運営委員

八木亜紀子（やぎあきこ）  
さっぽろ自由学校「遊」／開発教育協会  
(DEAR) 職員

5年にわたつた弁論の末に札幌地裁が下した判決は、こうです。  
（アイヌの人々の文化享有権の行使との関係において、さけの採捕は最大限尊重されるべきものであることを考慮しても、原告が本件漁業権を文化享有権の一環又は固有の権利として有すると認めるることはできない。）  
4年前の第2回口頭弁論で「私たちは川を取り戻し、サケを取り戻し、生活を取り戻したい」と陳述したラポロアイヌネイションの差間正樹名誉会長（当時）は今年2月6日、地元浦幌で亡くなりました。その遺影を胸に判決を聞いた差間啓全代表代行は、「アイヌの先祖たちが各地の川でなりわいとしてサケを獲っていたのは間違いない事実。それを、私たちがさも根こそぎ捕る（乱獲者集団とみなした）ような判決……。亡くなつた正樹さんのが遺志を引き継いでいきたい」と語り、控訴を明言しました。

私たちがさも根こそぎ捕る（乱獲者集団とみなした）ような判決……。亡くなつた正樹さんのが遺志を引き継いでいきたい」と語り、控訴を明言しました。

アクトや抗議を、無意味なものにしたり抑え込んだりする」効果があると著者は言つ。差別のある社会で生きているのだから、差別の元になる偏見は誰の心にもある。それを指摘されるのは居心地の悪いことだが、ボニタクを発して自己弁護をしたり、逃避したりしていは、自分にも組織にも社会にも変化は起こらない。自覚し、謝罪し、学び続けることが重要だ。

近年、差別の構造を明らかにし、マジョリティの変容（とその困難さ）を説く良書が増えているが、中でも本書は入門に最適な一冊といえる。わたし自身も偏見から自由ではなく、数々の失敗をしてきたことを自覚しているからこそ、学び続けている。



専門家批判、というのは、今に始まったことではない。アメリカや日本などでは、一九六〇年代から「専門家批判」が始まると書いていいだろう。当時、環境政策でも、福祉や都市政策でも、政府や専門家たちが「政策」を独占してしまっていることに対して、大きな異議申し立てがなされた。専門家が勝手に問題を枠組みを決めて、トップダウンの解決策を提示してくることに対し、「それは違う！」という批判だった。

アメリカの社会政策の専門家だったホーリー・リットルは、こうした批判を真摯に受け止め、「やっかいな問題」というものを論じた論文「計画の一般理論におけるジレンマ」を一九七三年に発表した。論文の中でリットルはこう論じている。「たとえば貧困問題も、最初から枠組みを決めて考えることはできない。まずは貧困問題とは何の問題なのかを考える必要がある。教育の問題なのか、技能の欠如の問題なのか、文化的な問題なのか。もしそれを教育の問題だと決めてその解決を目指したとしても、その解決のプロセスで必ずそこからはみ出る問題が出てく

## フルドワークな日々



る。問題はいつまで経っても解決されない。すくなくとも何度も何度も再解決されつづけるだけだ」。

この論文は、「やっかいな問題」というフレーズとともに、その後長く引用されつづける論文となつた。いやむしろ、二一世紀に入つてからの方がいっそよく引用されてくる。「やっかいな問題」は、社会問題の解決を目指す人びとの間での共通言語となつた。(ちなみに「やっかいな問題」というのはwicked problemsの日本語訳で、wickedは「邪悪な、意地悪な、ひどい」といった意味。これを誰か最初に「やっかいな」と訳したのかは不明だが、なかなかいい訳だと思う)

私も含めて、環境問題にかかわる研究者は、長くこの「やっかいな問題」と格闘してきた。

環境問題はなぜ「やっかいな」問題なのか。どんな社会問題もそうだが、環境問題は、はつきりとまとまった形で「存在」するものではない。いろいろな問題が複雑にからまりあつたその束として存在している。また、あちこちに散在する形で存在していく、とても「見えにく」。さらに、それがどの

原田 公久枝  
1961年生まれ。さっぽろ自由学校「遊」共同代表。北海道大学教員(環境社会学)。ソロモン諸島、北海道、宮城などで環境・生活の調査中。

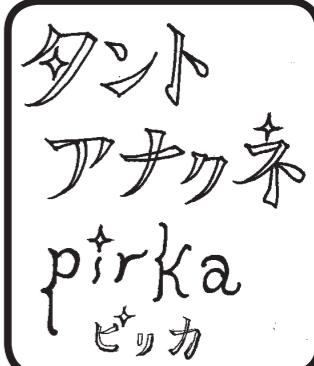
### 第九六回 やっかいな問題

田那が入院している病院まで自転車で見舞に行つて札幌ドームのそばを通つて、お姉ちゃんを思い出した。うちのお姉ちゃんは口ジックパズルとかが好きで、そういう雑誌を買って良く懸賞に応募していたが、「札幌ドームの日ハム対オリックスのペアチケットが当たった！」と遊びに来た。うちのお姉ちゃんは自律神経失調症とんかんを併発するような原因不明の病気だったので、どこで急に倒れるかもわからないので、父母が車で芽室からタバコまで送つてくれて私が札幌からタバコまで迎えに行つたりして、両親が年取つてからは途中で倒れても仕方ないとして首から障害者手帳を下げてそこに病気の説明を書いた紙を入れて、母が電車に乗るのを見届けて私が札幌駅のホームに迎えに行くようになつた。一回だつたか食べていた弁当が足元に散らばつていたつてことがあつたが、車掌

は席より喫煙室の方が球場全体が見れて楽しに行つて「ドームから出るのも大変」とつて言いながらちよつと歩いた住宅街の居酒屋でごはんを食べて「タクシータクシーナンバー」と歩き始めて今日の試合のこととか喋りながら途中歩道の縁石に座つて煙草吸つたりしながら一時間かけて家まで帰つた。「きっと居ればいつもスンゴイ歩かれる」「もうきっとママ出来てゐるわきっと」とか文句を言いながらも楽しそうに「酒造りの歌の最初つてどんなだけ?」「なんうねう! シントコサンケ! そーだヘルトウンルトウンだ」つて一人で歩いた道を、久しぶりに自転車で通つて泣いた。お姉ちゃんに最後に会つたのは一〇一二年五月四日「札幌ナンバーで施設に来ないで」と人目を気にするお姉ちゃんが三八号線沿いの芽室のインディアンカレーまで出て来て一緒に力

原田 公久枝 (はらだきくえ)  
札幌在住。18才以上の旦那有り。子どもなし。  
集金と配達のパートをしながら、アイヌの活動(歌・踊り・講演・執筆・お笑い等)をしている  
56歳。

オーガニック・自然食品専門店  
**らるごはん**  
おべんとうとおそうざい  
札幌市中央区大通西23丁目  
Tel 614-2406 Fax 614-3836  
http://rarubatake.com  
10時~19時(日~17時・祝~18時)



原田 公久枝  
第9回

が飛んできて大事に…つてことは無かつた。ドームの時は確か清原がいたので一〇〇六年だと思う。一八年前お姉ちゃんは四二歳私は三九歳二人共その広さと人工芝の縁に圧倒されながら「選手が蟻ぐらじ小さく!」「ボルがどこに飛んだか全然わからないね!」とわきやわきやして、途中喫煙室に行つたら実は席より喫煙室の方が球場全体が見れて楽しることがわかつてまあまあ長い間喫煙室から見たりして試合が終わつて「ドームから出るのも大変」とつて言いながらちよつと歩いた住宅街の居酒屋でごはんを食べて「タクシータクシーナンバー」と歩き始めて今日の試合のこととか喋りながら途中歩道の縁石に座つて煙草吸つたりしながら一時間かけて家まで帰つた。「きっと居ればいつもスンゴイ歩かれる」「もうきっとママ出来てゐるわきっと」とか文句を言いながらも楽しそうに「酒造りの歌の最初つてどんなだけ?」「なんうねう! シントコサンケ! そーだヘルトウンルトウンだ」つて一人で歩いた道を、久しぶりに自転車で通つて泣いた。お姉ちゃんに最後に会つたのは一〇一二年五月四日「札幌ナンバーで施設に来ないで」と人目を気にするお姉ちゃんが三八号線沿いの芽室のインディアンカレーまで出て来て一緒に力

二ヶ月過ぎた七月一九日脳内出血で厚生病院に搬送された。行つたけど会えなかつた。七月二九日病院から「少しの間状態を見るだけなら」と言われて行くが(もう戻つて来ないかも知れない)と思う。八月一七日病院から「すぐ来てください」と電話、弟に電話して行つてもらうが「亡くなつた」と。八月二九日直葬で菩提寺の大統寺に骨を納めて日帰りした。

二ヶ月過ぎた七月一九日脳内出血で厚生病院に搬送された。行つたけど会えなかつた。七月二九日病院から「少しの間状態を見るだけなら」とと言われて行くが(もう戻つて来ないかも知れない)と思う。八月一七日病院から「すぐ来てください」と電話、弟に電話して行つてもらうが「亡くなつた」と。八月二九日直葬で菩提寺の大統寺に骨を納めて日帰りした。

二ヶ月過ぎた七月一九日脳内出血で厚生病院に搬送された。行つたけど会えなかつた。七月二九日病院から「少しの間状態を見るだけなら」とと言われて行くが(もう戻つて来ないかも知れない)と思う。八月一七日病院から「すぐ来てください」と電話、弟に電話して行つてもらうが「亡くなつた」と。八月二九日直葬で菩提寺の大統寺に骨を納めて日帰りした。

春、北海道の一番いい季節ですね。とはいっても、新年度がスタートする時期もあり、制度の変更があつたりして「遊」では混乱が続いています。

運営メールでご報告しましたが、クロネコメール便がクロネコゆうメールになり、信書の認定が厳しくなって、講座案内パンフレットに会費納入のお願いを同封することができなくなりました。1種定形外郵便にすると料金がぐんと高くなります。昔北1条に事務所があった頃は1種郵便で送っていましたのですが、50gを超えると一気に料金が高くなるので、250gのオーバーの場合は紙の端を切り落として50gに収まるようにしたりしたものでした。今回のメール便の改定によって、「遊」だけではなく多くの市民団体が告知広報に少なくからぬ打撃を受けるのではないか。

この問題とは性質が違いますが、名義後援をめぐる論議でも告知広報への支援の必要性が語られました。告知広報が届かなければ、その活動はないのと同じで、議論の場がやせ細るという言葉が強く印象に残っています。

また、今期のパンフレットをめぐっては、表紙絵のジェンダー認識についても議論になりました。慣れてしまつて見逃したり、意識から漏れたりしていたことに気づかされる機会になりました。「私が変わる、世界が変わる」原点を確認しながら新年度を迎えるといふことです。(細谷洋子)

## 編集便り



### さっぽろ自由学校「遊」 からのお知らせ



#### オンライン開催講座（2024年5～6月開講分）



オンライン  
申込

##### Let's Talk! 世界と出会う英語 ★アンドレス・パトリシアン

5/13（月）開講 月2回月曜 19:00～

##### 〈東アジアの記憶の場〉を通して考える東アジア問題

① 5/14（火）18:45～ 東アジアの記憶の場としての在満少国民 ★北嶋順子

##### 越境する人と文化を通して読み解く東アジア VII ★講師 朴仁哲

6/11（火）18:45～ 韓国の全羅南北を事例として

##### 政治をもっとジェンダー平等に 一議会を変え・社会を変える女性たち

② 5/22（水）19:00～ 政治って、面白い！市民活動・まちづくりから議員になった2人に聞く

★いのまた由美、尾森加奈恵

③ 6/19（水）19:00～ 政治分野におけるハラスメント ★濱田真里

※「著者と読む『アイヌもやもや』読書会」につきましては、定員に達したため、募集を締め切らせていただきました。ご了承ください。

会員の方で、まだ今年度分（2024年4月～25年3月）の会費が未納の方は、会費納入にご協力ください。よろしくお願ひいたします。



### さっぽろ自由学校「遊」 からのお知らせ

#### 会場&オンライン併用講座（2024年5～6月開講分）

（会場記載のないものは愛生館ビル5F 501会議室にて）

講座のお申込は、右のQRコード、または「遊」ウェブサイトよりお願いします。  
<https://sapporoyu.org/>



会場（対面）  
申込



オンライン  
申込

##### アメリカの歴史から大統領選と日本を考える ★講師 北村公一

- ① 5/7（火）18:45～ 歴代大統領、選挙のしくみ アメリカの歴史①
- ② 6/4（火）18:45～ アメリカの歴史②

##### カール・マルクス著『資本論』を読む ★チューター 宮田和保

- ① 5/8（水）18:45～ ② 6/5（水）18:45～ ③ 7/3（水）18:45～

##### 漫画『ゴールデンカムイ』と出会い直す

- ① 5/10（金）18:45～ 「ゴールデンカムイ」の中の小樽 ★石川直章
- ⑤ 6/14（金）18:45～ 俳優として、アイヌ語・文化の監修者として ★秋辺日出男

##### 人と動物との共存・共生をめざして part 4

- ① 5/11（土）13:30～ ヒグマは見ている ★内山岳志
- ② 6/8（土）18:45～ 「ファーム サンクチュアリ」に保護される畜産動物たち ★関口晴実

##### 超入門！ ハングル ★李誠（Lee Sung）リ・ソン

- 5/15（水）開講 月2回木曜 19:00～

##### このままでいいの？ 再生可能エネルギーの進め方 part14

- ① 5/16（木）18:45～ 海底地震・津波と海上風力発電の安全性 ★鈴木猛康
- ② 6/20（木）18:45～ 地域から止める再エネ乱開発 ★室谷悠子

##### 私たちは沖縄の現状にどう向き合うべきなのか

- ② 5/20（月）18:45～ 過重負担の沖縄から米軍基地を本土へ持って帰ってください ★岸本節子、知念栄子
- ③ 6/17（月）18:45～ 「本土」で基地引き取り運動をはじめて10年の今 ★里村和歌子

##### 半導体産業の地政学的リスクと未来展望を考える

- ① 5/21（火）18:45～ 半導体産業の地政学的リスク ★藤原寿和
- ② 6/18（火）18:45～ 半導体産業が地域社会にもたらす負の影響 ★藤原寿和

##### 先住民族の森川海に関する権利 4 一海とアイヌ民族

- ① 5/24（金）18:45～ アイヌと海の哺乳類 ★宇仁義和
- ② 6/28（金）18:45～ 「漁場改正」のなかでアイヌはどう生きたか ★瀧澤正

##### 札幌貧困状況地図

- ① 5/25（土）14:00～ 夜のパン屋さん—その様子と活動を通して見てきたもの ★三上敦
- ② 6/22（土）18:45～ 地域に根付いて10余年、豊平教会無料地域食堂のあれこれ ★稻生義裕



## さっぽろ自由学校「遊」 からのお知らせ

### 会場開催講座（2024年5～6月開講分）

(会場記載のないものは愛生館ビル5F 501会議室にて)

講座のお申込は、右のQRコード、  
または「遊」ウェブサイトよりお願いします。  
<https://sapporoyu.org/>



会場（対面）  
申込

#### アイヌアートデザイン教室 ★講師 貝澤珠美

毎月第二・第四水曜 13:00～

#### 花さんの詩の世界 於：花崎さん宅（小樽）

①5/9（木）14:00～ ②6/13（木）14:00～

#### 老いと向き合う part11

①5/3（金）14:00～ エンディングノートについて知ろう！ ★大塚周雄  
②6/7（金）14:00～ 地域とつながる—当別町「風街カフェ」の見学 ★大澤俊信  
\* 13:50 「風街カフェ」集合（当別町白樺町60-19）

#### 「遊」版うたごえ喫茶 2024 於：愛生館サロン（愛生館ビル6F南側奥）

②5/17（金）14:00～ ③6/21（金）14:00～

#### 読書室 よりみちまわりみち

②5/18（土）14:00～ ②6/15（土）14:00～

#### 「山谷 やられたらやりかえせ」 上映 & トーク

5月19日（日）

13:30～第1回上映 15:30～トーク

18:00～第2回上映

トークゲスト なすび

かでる2・7 1030会議室

（札幌市中央区北2条西7丁目）

前売1,000円 当日1,200円 学生800円

#### 「憲法を武器として 恵庭事件 知られざる50年目の真実」 上映 & トーク

6月15日（土）

18:00～21:00

トーク 稲塚秀孝

愛生館サロン（愛生館ビル6F 南側奥）

事前申込1,200円 当日1,500円

#### 自然食ホロ



札幌市東区中沼西  
5条2丁目3-16  
TEL: 887-6224

いつも喜んで、  
感謝して。

<http://holo.sunnyday.jp/>

#### いつだってNo Nuke !



北海道のエネルギーの未来を考える  
10,000人の会

Simple Life, High Thinking



〒007-0866 札幌市東区伏古6条4丁目4-21  
TEL. 785-0228

ゆうひろば

発行：NPO 法人さっぽろ自由学校「遊」

〒060-0061 札幌市中央区南1条西5丁目 愛生館ビル5F 501

・郵便振替口座： 02780-5-47036 (名義：自由学校「遊」)

- ・TEL:011-252-6752
- ・FAX:011-252-6751
- ・syu@sapporoyu.org
- ・<https://sapporoyu.org/>



web サイト



F B ページ

